


2017年8月19日 子どもの日本語教育研究会

A stylized illustration of a landscape. The background consists of layered, wavy bands of light blue and white, suggesting a sky or mist. In the foreground, there are rolling green hills in various shades of green. On the left, a tree with rounded green foliage stands on a small brown mound. Next to it is a large, multi-layered flower with purple and pink petals. Below the flower are several orange, rounded shapes. A small brown path winds through the hills. In the upper left, a small red bird is flying, leaving a white trail.

DLAとJSLを活かした授業づくり 『一つの花』

小牧市立大城小学校 国際学級担当 伊藤 敦子

子どもたちが抱える問題



日常会話ができる



授業で活躍できる

授業でなかなか活躍できない

授業で活躍するには…

「学ぶ力」を育てるためのDLAとJSL

DLAのねらいと特徴

教科学習に困難を感じている子ども



「認める」「待つ」「ほめる」
まなびの機会

一番早く伸びる会話力
一対一の対話型



子どもの強みと弱みを知る
必要な支援方法を知る

同じ方法で
母語の力も
測れる

JSLのねらいと特徴

教科学習に困難を感じている子ども



授業に参加するための「**学ぶ力**」の育成



つまずくと予想される部分を支援

理解できないと予想される部分を支援

JSL教科型の授業構想



DLAとJSLを生かす授業づくり

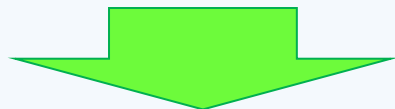
DLAの実施



視覚的な支援
体験を生かす
意欲を伸ばす
豊かな読書経験



強みを生かし、弱みを支援する指導



DLAとJSLカリキュラムの活用

読めた！
できた！
わかった！



これが得意
この支援が有効
意欲がある



『一つの花』実践 1. 子どもたちの情報

- ① 国籍4ヶ国 7名 男3人 女4人
- ② 滞日期間に違いあり
 - ・ 滞日6ヶ月1名
 - ・ 母国と日本の移動あり2名
- ③ 母語が十分話せない児童1名
- ④ 家庭環境に問題がある児童1名
- ⑤ 認知とコミュニケーションの発達が気になる児童2名
- ⑥ DLAはステージ3～4

『一つの花』実践 2. 指導目標

＜教育課程の目標＞

- ・ 物語を読み、心に残ったことを基に、進んで内容を友達に紹介しようとする。
- ・ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。
- ・ 物語を読んで感じたことや考えた事を発表し合い、友達との感じ方・考え方の違いに気づくことができる。
- ・ 紹介したい本について、書こうとすることの中心を明確にして書くことができる。

＜ANIMOの目標＞

＜教科の目標＞

- ・ 登場人物の行動や様子に着目して、気持ちを理解することができる。
- ・ 友達の話を聴き、自分の考えを話すことができる。

＜日本語の目標＞

- ・ 主語と述語に注意して読むことができる。
- ・ 「～は～だと思います。どうしてかという～からです。」「はじめは～だったけど～に変わりました。」などの話形を使って話すことができる。

『一つの花』実践 単元構成

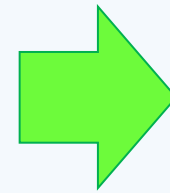
＜8時間完了＞

- 1時 範読をきく。分からない言葉の意味を確認する。
- 2時 第1場面を読む
- 3時 第2場面を読む
- 4時 第3場面(前半)を読む
- 5時 第3場面(後半)を読む
- 6時 第4場面を読む
- 7時 原文を読んで、題名の意味を考える
- 8時 言葉の学習をする

『一つの花』実践 支援方法を考える

DLAなどからわかる情報

- ・ 意欲的
- ・ コミュニケーション力が高い
- ・ 日本語のレベル差
- ・ 体験したことは理解しやすい
- ・ 視覚から情報を得やすい
- ・ 推測ができる
- ・ 順序だてて文章を書くことが苦手
- ・ 表記上のミスが多い



理解支援と表現支援

- ・ 座席の工夫
- ・ 授業の流れは同じに
- ・ 映画視聴
- ・ 言葉絵カード
- ・ 気持ち理解プリント
- ・ リライト版教科書
- ・ モデル文の提示
- ・ 母語の活用
- ・ 「おなおしタイム」

『一つの花』実践 4. 支援の実際 ①

座席の工夫・授業流れは同じに



- ・ 子どもの特性が生きる
- ・ 授業の流れとポイントが分かる
- ・ 内容理解が深まる
- ・ レベル差の克服

『一つの花』実践 4. 支援の実際 ②

映画視聴・言葉絵カード・気持ち理解プリント



- ・ 時代背景が分かる
- ・ 登場人物のおかれた状況把握
- ・ 言語のレベル差を埋める

『一つの花』実践 4. 支援の実際 ③

リライト版教科書・ワークシート



- あらすじが理解しやすい
- 自由な書き込み
- ポイントの絞り込みができる
- 授業の流れが理解しやすい

『一つの花』実践 4. 支援の実際 ④

モデル文の提示・母語の活用・「おなおしタイム」



- ・ 自分の考えを伝えやすい
- ・ 理解したことが書ける
- ・ 間違いに自分で気づく

『一つの花』実践 5. 実際の授業

第3時 2場面 めあて 気持ちを考えよう。



1. 音読する
2. 父親の気持ちを考える
 - ① 会話や行動に線を引く
 - ② 父親の気持ちを考える
 - ・ 深いため息
 - ・ 「一つだけ・・・」
 - ・ 「いったいどんな子に・・・」
3. 学習のまとめ(ふりかえり)を行う



『一つの花』実践 5. 実際の授業

第3時 2場面 めあて 気持ちを考えよう。



ビデオ視聴

『一つの花』実践

5. 実際の授業 ①

深いため息
「一つだけ……」
「いったいどんな子に……」

授業風景写真

疲れたとき → 悲しいとき
戦争がはげしいから人が死ぬ

山ほどちょうだいと言わずに
すごすかもしれない

大きくなったらどんな子に育つか
わからない
もっとちょうだいと言って、手を出す
子になるかもしれない

『一つの花』実践

5. 実際の授業 ②

気持ちを
みんなで
話し合ったよ

今日は、お母さんきもちを考えたよ。
お母さんのきもちが、ゆみ子がおきくなたり
人にうたげなさい。だいてやることおしてほしく
ないてゆうことです。
お父さんのきもちも、お母さんと同じく、お父さん
二人がどうなってる。だううが、お母さんか、お
どお子に、お母さんのおしり、お母さんか、お
い。お母さんとお父さんのきもちについて
よく考えましたね。

今日勉強したことば、今とちがう
ところを、お母さんか、お父さんか、お
ました。お母さんか、お父さんか、お
ことですが、毎日お母さんか、お父さんか、お
あ、お母さんか、お父さんか、お
お母さんか、お父さんか、お
自分の考えをまとめたね。
お母さんか、お父さんか、お
お母さんか、お父さんか、お

わかる！ 楽しい！ 授業へ

授業風景写真

小牧市立大城小学校の
HPを見てください。

<http://www.komaki-aic.ed.jp/ohshiro-e/>

授業公開は
いつでもします！